

整理番号：6－1

提言題名：防災無線で自肅要請

**【提言の要旨】**

新型コロナウイルス感染症防止対策に関する提案

防災無線で、市政50周年を記念して作成した「取手市民のうた～新しい明日～」をながしたらどうか。市長の声で、自肅の呼びかけをして、医療従事者に感謝と応援の気持ちを込めて拍手を送りましょう。マスコミに取材してもらい、取りあげてもらいましょう。

(令和2年4月受付)

**【回答の要旨】**

昨今の新型コロナウイルス感染拡大防止に関する情報については、新型コロナウイルス感染症対策本部からの要請を受け、4月3日から防災ラジオを中心に放送を行っているところです。今後も状況に応じて、同本部からの要請に基づき防災無線・ラジオを活用した感染拡大防止の啓発に努めていく予定です。

また、広報等でもお知らせしておりますとおり、市では令和元年度末より、防災ラジオの導入・運用を開始しております。これに伴い、屋内に設置するラジオ端末に電波が届きやすくするため、従来の防災無線周波数60メガヘルツから、ポケットベル周波数と同じ280メガヘルツに変更いたしました。

この280メガヘルツによる防災無線・ラジオの場合、コンピューターで入力した文章を読み上げる形での放送（文字情報を電子音声に変換するシステムのため）となり、ご提案にあります「市長の声で」ということに関しましては、技術上、難しいものです。なお、ホームページでは、市長の動画によるメッセージを掲載しております。

次に、「取手市民のうた」に関しては、市民のうたをお知らせする意味では有効と考えております。全ての歌詞を流すことはできませんが、現在行っている放送と合わせて流すことができないか、関係部署と検討いたします。

今回、ご提案いただきました内容について、安全安心対策課からは上記のとおりのお返りとなります。何卒、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。また、今後とも市の防災行政に関しましてご理解・ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

(安全安心対策課 令和2年4月回答)